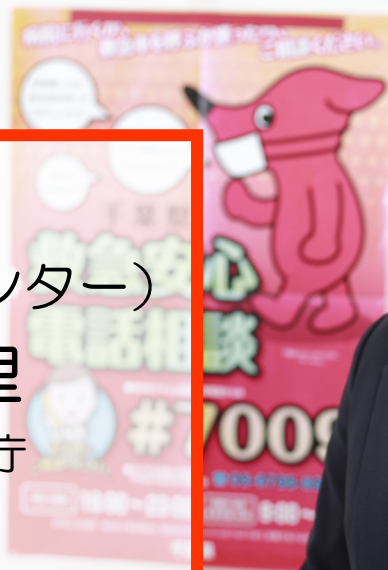


市川保健所
(市川健康福祉センター)

櫻井 友里

平成28年度入庁
保健師



Q1 現在はどうな仕事をしていますか。また、現在の仕事のやりがいや魅力、印象に残っていることなどを教えてください。

感染症の予防やまん延防止対策を行う感染症対策事業の担当として、現在は新型コロナウイルスの感染症対策に携わっています。この新たな感染症に対し保健所では、土日・夜間も勤務する体制をつくり、チーム一丸となって感染拡大の防止に取り組んでいます。

業務は市民からの相談や感染者の健康観察など多岐にわたりますが、今自分にできることを一生懸命に行い、その一助となることができたと思うときは自分の仕事にとってもやりがいを感じます。

Q2 千葉県を志望した理由を教えてください。

私は、千葉県で育ち、県内の大学で保健師の役割や活動内容を学び、広域的かつ専門的な保健サービスを提供する県の保健所保健師の仕事に魅力を感じ、この仕事に携わりたいと思いました。

そして、県保健所での実習では、先輩保健師の方々が優しく丁寧に仕事を教えてくれました。そんな尊敬できる先輩方と一緒に働きたいと思い、千葉県を志望しました。

Q3 「保健師」として働く上で、心がけていることや大切なことは何ですか？

専門職である保健師には、スペシャリストとしての高度な知識や経験が求められますので、OJTや講習、研修等を通じて、日々学ぶ姿勢でいることを心掛けています。

そして、専門的な知識や経験を活用し、病気や障害について不安や疑問を抱えている方の問題を解決するため、問題の本質をしっかりと捉えることが大切なので、相手の気持ちに寄り添って、話をよく聞くことを心がけています。

しかしながら、1人で全てのことを完璧に把握し、対応することはできませんので、先輩や同僚とよく相談し、病院等関係機関との連携も大切にしながら、チームで問題解決にあたることを心がけています。

Q 4 今後どのように働いていきたいですか。目標や、取り組んでみたい仕事など教えてください。

現在携わっている感染対策事業の他に、これまで難病対策事業、母子保健事業、保健所実習等の業務に携わってきました。今後は、新しい領域の仕事に挑戦し、様々な経験を積むことで、総合的に活躍できる保健師となり、県民の皆様に貢献できる職員となれるよう頑張っていきたいです。

Q 5 受験生へ一言

保健所の保健師は、県全体の広域的・専門的な保健サービスに携わるので、幅広い経験を積むことができます。皆さんも千葉県で一緒に働きませんか。

異動経歴

H28年採用	市原健康福祉センター
H31年	市川健康福祉センター

